

「集中治療領域での栄養療法における薬剤師の介入効果についての検討」調査実施についてのお知らせ

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター  
薬剤科

【課題名】

集中治療領域での栄養療法における薬剤師の介入効果についての検討

【目的】

集中治療領域に入室している方の多くは、侵襲による異化反応の亢進により栄養状態が急激に低下するため、栄養サポートチーム（以下、NST）の対象とされますが、栄養評価の方法や目標エネルギー量の設定が一般病棟とは異なります。そのため、多くの救急・集中治療施設で院内のNSTとは独立した活動がされており、りんくう総合医療センター（以下、当院）でも救命救急センターに独自のNSTを立ち上げ、週に1回のカンファレンスを軸に全職種への栄養療法の詳細について提案を行っています。また、その中に薬剤師もチームの一員として参画し、経静脈栄養等のエネルギー量の計算や処方提案などを行っています。今回、集中治療領域での栄養療法における薬剤師の介入効果について調査いたしました。

【対象】

対象となるのは、2019年4月から2020年3月の1年間に当院救命救急病棟に入院し、NSTによるカンファレンスで協議された患者様です。

【方法】

病院の情報検索システムを用いて、対象とされる患者様を抽出し、年齢、性別、疾患名、カンファレンスの内容や薬剤師による提案内容などを調査しています。

【個人情報の取り扱いについて】

データは匿名化して解析されるため、個人情報は取り扱いません。匿名化された既存情報のみを用いる為、基本的に調査対象者に負担やリスクは発生しないものと考えられます。収集されたデータは、研究責任者および協力者のみがアクセス可能にすることで情報の漏えい等を防止し、また、解析並びにその結果の公表を終えた後に速やかに破棄され、プライバシーの保護については、十分に注意を払っています。

本研究の調査対象の患者様で、調査に同意されない方はお申し出ください。

この件に関しまして、ご質問などございましたら、下記の研究責任者に遠慮無くお尋ね下さい。

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 薬剤科  
研究責任者：中川 貴弘  
電話：072-469-3111